

### 世界水泳で銅メダル獲得— 水泳部 塩浦慎理さん（法学部4年）

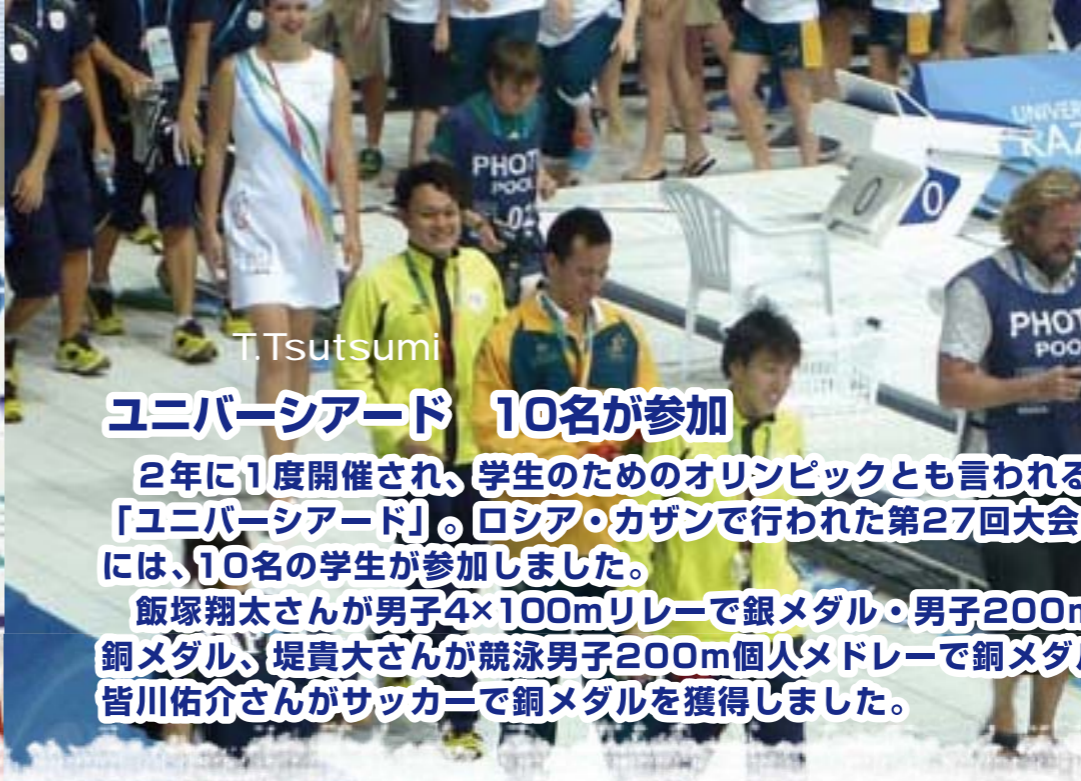
スペイン・バルセロナで行われた第15回世界水泳選手権大会で水泳部の塩浦さんが銅メダルを獲得しました。北京オリンピック金メダリストの北島康介選手らとともに男子400mメドレーリレーでの快挙。男子50m自由形では残念ながら決勝進出を逃すも、日本新記録(22秒02)を樹立する泳ぎを見せました。

また、競泳ワールドカップ2013ドバイ大会では、今年から正式種目となった男女混合200mフリーリレー世界新記録で優勝※。リオデジャネイロ五輪での塩浦さんのメダル獲得に期待が高まります。

※その後開催のドーハ大会で記録を破られる



S. Shioura



T. Tsutsumi

### ユニバーシアード 10名が参加

2年に1度開催され、学生のためのオリンピックとも言われる「ユニバーシアード」。ロシア・カザンで行われた第27回大会には、10名の学生が参加しました。

飯塚翔太さんが男子4×100mリレーで銀メダル・男子200mで銅メダル、堤貴大さんが競泳男子200m個人メドレーで銅メダル、皆川佑介さんがサッカーで銅メダルを獲得しました。



Y. Minagawa

# 世界にははばたく中大学生

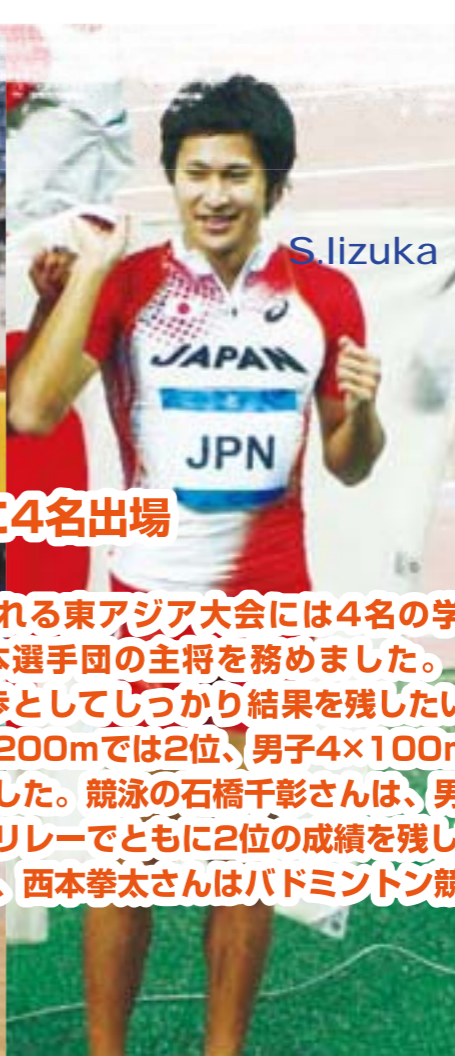
### 世界陸上で6位入賞— 陸上競技部 飯塚翔太さん（法学部4年）

ロシア・モスクワで行われた第14回世界陸上競技選手権大会で、陸上競技部の飯塚さんが男子400mリレーで6位入賞を果たしました。

男子200mでは日本人唯一の予選突破を成し遂げ、ロンドン五輪から一歩前進を見せました。「和製ボルト」と称され、目標とする日本人初の19秒台や世界大会での決勝進出の実現も近いと見られる飯塚さんの今後の活躍に注目です。



K. Nishimoto



S. Iizuka

### 東アジア大会に4名出場

4年に1度開催される東アジア大会には4名の学生が出場し、飯塚翔太さんが日本選手団の主将を務めました。「2020年の東京五輪への第一歩としてしっかり結果を残したい」という思いのとおり、陸上男子200mでは2位、男子4×100mのリレーでは大会新記録で優勝しました。競泳の石橋千彰さんは、男子200m自由形、男子4×200フリーリレーでもともに2位の成績を残しました。高士拓也さんは自転車競技で、西本拳太さんはバドミントン競技で出場しました。



C. Ishibashi